

経済倶楽部便り

◆東京◆ 1月の最初の講演会は毎年東京大学

大学院の藤原帰一先生にお願いしています。藤原先生は毎月1回、NHKB Sの朝の番組で注目映画を紹介されていますが、講演当日はその日にあたり、番組ではインド映画を紹介されています。講演でも「今のインド映画ではまだ夢が語られています」とインド映画の話から始まりました。その後、今の世界が自由世界の統合の流れから国民国家復活へ逆流しだしていることを指摘。さらに今後、グローバル化の再構築が可能なのかについてお話し頂きました。

1月の入会者は石田道人・扇屋商事社長、笠

倉健司・有徳経営研究所代表取締役の各氏です。

3月の講師は山内昌之・東京大学名誉教授、

木村幹・神戸大学大学院教授、浜矩子・同志社大学大学院教授、歳川隆雄・インサイドライン編集長、高原明生・東京大学大学院教授です。

◆中部◆ 1月の講師としてお呼びした加藤出・

東短りサーチ社長には今年の内外経済の見通しをお話し頂きました。「世界経済は緩やかな後退局面を迎えているが、米中貿易問題と英国のブレグジットで交渉がハードランディングした場合、シートベルトをしっかりと締める必要がある」と話されました。

3月の講師は現代中国問題研究家の津上俊哉氏、TBS「ニュース23」キャスターの星浩氏を予定しています。

(日暮良一)